

## これまでの主な取組（重点施策を除く）



### 低炭素型で活力ある産業社会づくり

#### 【県内企業の対策促進・支援の充実】

- 温暖化対策に積極的に取り組む企業への支援など  
中小企業における省エネルギー対策の促進
  - ・ 環境みらい資金による低利融資支援(▲2千t/年)
  - ・ 中小規模事業者のCO<sub>2</sub>削減設備導入補助(▲2.7千t/年)
- 中小企業に対する省エネルギー相談などの充実
  - ・ 省エネナビゲーターによる省エネ診断

#### 【大規模事業者への対策】

- 環境に配慮した流域下水道の整備
  - ・ 下水汚泥の高温焼却化
  - ・ 超微細散気装置の導入(▲74千t(対H17))



### 低炭素型ビジネススタイルへの転換

#### 【業務・オフィススタイルの見直し】

- グリーン調達による特定備品の更新整備
  - ・ 環境に配慮した物品購入の率先実施
- 建築物・設備の低炭素化
  - 既存建物のエコオフィス化に対する支援強化
    - ・ 公共施設の省エネ設備導入支援(▲2.5千t)
  - ESCO事業の推進
    - ・ 県立病院等の県有施設への導入(▲4.4千t/年)
- 運輸・物流の低炭素化
  - 交通需要マネジメントの推進
    - ・ 市町村と連携した普及啓発や社会実験の実施



### 低炭素型ライフスタイルへの転換

#### 【ライフスタイルの見直し】

- 県民ムーブメントの喚起
  - ・ マイバック運動やマイボトル運動の推進
- 省エネ家電・設備等の普及促進
  - ・ 家電製品省エネ情報提供制度の普及拡大
- CO<sub>2</sub>排出量の「見える化」と削減行動の促進
  - カーボンオフセットなどCO<sub>2</sub>排出相殺手段の普及
    - ・ 県グリーン電力証書の購入(13kWh分、H21,22)
- 地産地消の推進
  - ・ 地産地消推進協議会等を通じた推進



### 低炭素で地球にやさしいエネルギー社会への転換

#### 【太陽エネルギーの導入促進】

※ 重点施策に記載

#### 【多様なエネルギー源の活用】

- 農山村バイオマスのエネルギー利用の促進
  - ・ 木質バイオマス加工施設整備(2施設)
  - ・ 木質ペレット利用のボイラー・空調設備への補助(29台)
  - ・ 産学官によるバイオマス、熱エネルギーの利用拡大の検討
  - ・ 木質バイオマスからのバイオオイル製造・利用に係る技術開発



### 低炭素で潤いのある田園都市づくり

#### 【低炭素型まちづくり】

- 低炭素型まちづくりに対する支援
  - ・ 「環境みらい都市」認定(10市)、市内の全街路灯LED化等の取組事例の発信
  - ・ 創エネ・省エネを地域づくりに活用する市町村への支援(12市町)

#### 【みどりと川の再生】

- 身近な緑の保全・創出等
  - ・ 「彩の国みどりの基金」を活用した支援市町村の公園・グラウンド等緑化(21か所)
- 清流の復活・安らぎと賑わいの空間創出
  - ・ 「川の国アドバイザー制度」による川の再生活動のリーダー育成



### 豊かな県土を育む森林の整備・保全

- 適正な森林整備の推進
  - ・ 水源地域市町村が実施する市町村有林の管理等への支援
  - ・ 間伐による森林整備
- 保安林の適切な保全・管理
  - ・ 治山事業による保安林の除伐、下刈、本数調整伐、補植の実施
- 県民参加の森林づくりの推進
  - ・ 企業・団体が実施する森づくり活動への支援



### 低炭素社会への環境教育の推進

#### 【児童・生徒への環境教育】

- 環境に関する体験学習など環境教育の充実
  - ・ 高校生によるエネルギー関連施設の見学、太陽光エネルギー利用実験
- 環境学習への地域展開
  - 学校から保護者へ、地域へと広がる二酸化炭素削減実践活動の普及促進
    - ・ 環境アドバイザーの派遣(受講3万人)
    - ・ 環境教育アシスタント派遣(受講2.6万人)
    - ・ 環境学習応援隊派遣(受講1.9万人)
- 国際協力の推進
  - 海外からの研究員受入等
    - ・ タイ、中国山西省等からの研修員受入